

学校だより

明るく 元気に たくましく

平成27年5月7日発行

広島市立広島特別支援学校 校長 中尾 秀行

TEL 082-250-7101 E-mail : yougo-s@e.city.hiroshima.jp

平成27年度始業式（4月6日）

FAX 082-250-7102 ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>



御入学おめでとうございます

□ 入学式

4月7日（火）に小学部・中学部入学式を挙行了しました。多くの御来賓の皆様の御臨席を賜り、広島市教育長 尾形 完治 様には式の中で御挨拶を賜りました。厚くお礼を申し上げます。本年度、小学部第1学年に27名、中学部に39名の新生を迎えました。小学部は最大の入学者数を更新しました。新生の皆さん、入学おめでとうございます。校長式辞においては、新生の皆さんに大切にしてほしい言葉をプレゼントしました。それは、「さくら」です。さくらの「さ」は、「さあ、元気を出そう。」の「さ」です。体をいっぱい動かして元気な体をつくりましょう。さくらの「く」は、「くじけず続けよう。」の「く」です。たくさん勉強をして、何事にも負けない強い心を育てましょう。「さくら」の「ら」は、「らんらんらん、楽しいな。」の「ら」です。楽しいこと一杯して、生活する力を身に付けていきましょう。「さ・く・ら」を大切に、頑張って活躍し、美しく咲き誇る皆さんを校長先生は楽しみにしています。応援しています。また、本校の児童生徒の目標についてもお伝えしました。「明るく 元気に たくましく」です。明るい笑顔と元気な体、そしてたくましい心をはぐくみ、広島市立広島特別支援学校の児童生徒として、自信と誇りをもって生活をしてください。本校教職員は、児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導と支援を行い、児童生徒のもつ能力を最大限に発揮できるよう努めていきます。



広島市教育長 尾形 完治 様 御挨拶



PTA会長 眞田 友恵 様 御挨拶



新生入場の様子



呼名に応える生徒

4月8日（水）には、広島市健康福祉局障害福祉部障害福祉課長 細田 益啓 様をはじめ、多くの御来賓の皆様の御臨席を賜り、高等部入学式を挙行了いたしました。98名の高等部新生の本校への入学を心よりお祝いいたします。おめでとうございます。高等部での3年間の目標は「豊かに生活できる力を身に付ける。」です。これから始まる学校生活に、夢と希望をもって送っていただきたいと思っています。生活するために必要な力を付ける教科学習、働く力を身に付ける作業学習、また、新生の皆さんが楽しみにしている体育祭や文化祭等の行事では、日頃の学習成果の発表とともに、係活動でも力を発揮してほしいと願っています。校長式辞においては、新生の皆さんに本校高等部の生徒のことで見習ってほしいことを三つ選んでお話ししました。一つ目は、「おはようございます。」など大きな声で挨拶をすることです。学校には、たくさんのお客様が見えられますが、「大きな声で挨拶ができてとても気持ちいいです。」といつもほめていただきます。二つ目は、一生懸命勉強することです。国語や数学、体育や音楽、そして作業学習など社会に出て「豊かに生活できる力を身に付ける。」ための勉強をします。真剣に勉強する姿は、かっこいいです。三つ目は、友達を大切にすることです。たまにけんかもするけれど、直ぐ仲直りができ、とても仲良しです。みんなが友達のことを大切に思い、優しい心を持っているからです。友達が困っていれば助けたり、一緒に力を合わせて取り組んだりする姿にいつも感動です。新生の皆さんにも、是非引き継いでいってください。

お忙しい中、両日の入学式に御臨席を賜りました御来賓の皆様、御列席を賜りました教育委員会の皆様、PTA会長、副会長の皆様にお礼を申し上げます。また、保護者、御家族の皆様、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。



入場の様子



学校長式辞



会場の様子



生徒会長歓迎の言葉

□ 就任式・始業式

4月6日(月)に、就任式を行いました。本年度、教諭34名、給食調理員1名、臨時事務職員1名、介助員3名、添乗員2名、看護師1名、合わせて42名の教職員が新たに着任しました。本年度は教育相談主任、就職支援に取り組むジョブサポートティーチャー、養護教諭2名、栄養教諭1名を加えると教諭は196名となりました。今年度も、事務、給食、技術員、介助員、添乗員、さらに非常勤講師、特別非常勤講師等を含めると教職員は300名以上の職員になります。これからそれぞれの立場で、それぞれの強みを生かしながら児童生徒の教育活動を進めていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



就任式で新しく着任された教職員の自己紹介

□ 研究体制について



昨年度の授業公開研究会の様子

本校は今年11月12日(木)・13日(金)に開催される第54回全国学校体育研究大会(ひろしま大会)において公開授業を行います。

研究テーマは[環境づくりに視点を当てた「やってみたい、やってみよう、もっとやりたい」と思える体育学習]です。一昨年度から「体育の授業」を通して授業研究を行っていますが、児童生徒が「やってみたい、やってみよう、もっとやりたい」と感じる手立てや指導方法等は他の教科等でも共通するものが多々あり、また、指導に関する基本的な考え方は全ての教科等でも同じと考えています。

4月9日(木)に行われた校内の全体研修会では、本年度の取組について全教員で共通確認をしました。本年度も昨年度に続き、上越教育大学大学院学校教育研究科 准教授 村中智彦先生に、本大会と事前研修会に本校に来校していただき指導・助言を受ける予定です。

□ 巡回指導

4月22日(水)に広島県立障害者療育支援センターわかば療育園園長兼医療科主任医長 河野政樹先生が本校に巡回指導に来てくださいました。各教室を御覧になり、児童生徒が落ち着く教室環境について、机の配置やパーテーションの使い方等、具体的なアドバイスをたくさんくださいました。今後の指導に生かすよう教職員一同情報を共有し、児童生徒が落ち着いて学習に取り組み、自立と社会参加に向かえるよう、更なる授業改善を行っていきたく考えています。



□ 家庭訪問について

新入学年においては個別の教育支援計画Bの「本人・保護者の願い」等を記入していただいたり、在校学年においては変更点等を記入していただいたりしました。この教育支援計画はお子様の将来の目標から、そのために本年度、誰が何に取り組まなければならないか、どういった連携が必要か等を明らかにしていきます。その中で、学校において本年度取り組んでいく内容を詳しく示したものが個別の指導計画Iに当たり、具体的に学期ごとに内容を示したものが個別の指導計画IIに当たります。

4月末から始まりました家庭訪問では本年度の指導の目標や手立てについてお話したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。また、これまでの情報に加え、新たな情報や詳しい情報があれば、いろいろ教えていただければと思います。行動の背景にあるものが分かれば、より具体的な目標や手立てを立てることが可能となります。お子様の成長のために、情報を共有しながら御家庭と学校が手を取り合っていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

□ 学校視察(インドネシア文部省初等中等局職員御一行様)

4月24日(金)にインドネシアから文部省の方々が本校の視察にいらっしゃいました。高等部職業コースの生徒が、お茶での接待を行ったり、授業場面の説明を行ったりしました。御来校いただいた方々は、施設・設備の良さに驚かれるとともに、生徒の直向きな姿を笑顔で御覧になりました。



パン作りについて説明する生徒



屋上にて災害避難訓練の説明



校長室にて学校概要の説明